

夢きらり

読書の秋 本にたくさん親しみましょう

酷暑だった夏も、ようやく終わりを告げようとしています。子ども達は、暑さにも負けず学習に、運動に元気に励んでいます。

秋は、「運動の秋」「食欲の秋」「読書の秋」とたとえられるように、いろいろな活動に適した過ごしやすい季節です。学校では、この2学期、子ども達に、できるだけいろいろなことにチャレンジさせたいと考えています。その一つに読書があります。

学校評価の結果で読書に関する結果を見ると、「大満足」「少し満足」を合わせて、子どもの評価は93%でした。一方保護者の評価は53%でした。このことから、子ども達は、学校の読書タイムで本を読んでいるので満足と答え、保護者の方々は、家で本を読んでいないので不満足と感じていることが読み取れます。

また、全国学力学習状況調査の結果でも、ゲームやテレビを見て過ごす時間が、全国平均より長いことも分かりました。

これからの時代に求められるのは「読む力」です。AI(人工知能)が苦手なことは、文章の内容を正しく理解することです。



図書コーナーで紹介している本



今月のテーマは「本のまくら」



旧高郷三小から持ってきた棚

＜例＞ <AIは東大に入れるかの実践者講話から>
スマホで「近くの美味しいイタリアン」と「近くのまぜいイタリアン」の両方を検索すると、どちらにも同じ店が出てくるそうです。つまり、「近く」「イタリアン」といった、共通する単語があることで、人間では間違わないはずの間違いをするそうです。

しかし、ここまでひどくなくても、人間も言葉を理解する力が落ちてきていると言われます。そして、その力を補うことができるのは読書だそうです。

学校では、子ども達が、少しでも本に興味が出るように、「本の紹介コーナーを」を設置したり、「今月の本のテーマ」を決めて、呼びかけたりしています。また、子ども達と本の距離が少しでも近くなるように、旧高郷三小の校舎から、スチール棚を運び各クラスの前に設置しました。もちろん、学校のようにはいかないと思いますが、秋の夜長、子ども達が、メディアから離れて少しでも本に向き合う時間をつくってください。そして「この本の、まくら(出だしの部分)は、どんな内容だったの？」なんて、聞いてみてください。子ども達の様子が変わるかもしれません。

秋の夜長、子ども達が、メディアから離れて少しでも本に向き合う時間をつくってください。そして「この本の、まくら(出だしの部分)は、どんな内容だったの？」なんて、聞いてみてください。子ども達の様子が変わるかもしれません。

理科自由研究がんばりました

9月5日(水)に、耶麻地区小学校理科研究物の審査が行われました。本校からは、11点の作品を出品しました。そして、6年生の小林真子さんが入選に入りました。長い夏休みを利用して、がんばって取り組んだ作品が多く見られました。また、来年もチャレンジしてほしいと思います。



賞状を受け取る小林真子さん

